

県民だより

運動企画！



「大和の森」は面積約1ha。昭和40年代、大和団地（約4,000世帯）の開発時に残地として40年間放置されてきた団地周縁の雑木林の一部で川西市有地です。

この鬱蒼とした森を整備し、住民の憩いの場をすることを目的に有志が集り、2009年から調査を開始。2011年4月「大和フォレストクラブ」を設立し、作業を始めました。

当初はトウネズミモチとアカメガシワ、それに絡まるツタやクス・イバラに覆われ、一步も踏み込めない暗い森でした。作業はそれらの伐採・除去から始まり散策道や階段の敷設が主な作業でしたが、最近は整備された森の状態を維持するための作業に移りつつあります。



大和の森

【川西市大和西3】

アクセス：能勢電鉄「畦野」駅より
徒歩約10分

守っている人たち

大和フォレストクラブ



大和の森ホームページ



整備を始めて9年、暗い森も見違えるように明るくなりました。「春・秋の散策会」や毎月第3日曜日の「森のカフェ」等、定例化されたイベントを通じて住民の間でも少しずつ「大和の森」の存在が認知されてきたようです。最近、音楽グループが森の広場で練習をするようになりました。カブトムシや国蝶「オオムラサキ」の繁殖にも取り組み、2020年夏「オオムラサキ」を羽化させることができました。

「憩いの場」の提供を目的とした事業ですので近隣住民に如何に利用してもらえるかが重要です。定例行事以外にも、子ども向け「自然探索会」や「自然工作教室」「藍のたたき染め」等の行事もあります。森の整備という力仕事だけでなく、イベントの企画や運営のできる人材の輪も広げて行きたいと思っております。

